

あ し つ き

平成27年度 第11号 平成28年3月14日

元気でやる気に満ちた中田っ子

校長 川辺 勝治

今年度の学校評価の結果を本校のホームページに載せました。

まず、学校評価から見た本校児童のよさをご紹介します。

- 元氣（自発性）、やる氣（自主性）があり、活発に学校生活を送っている。
- みんなの役に立っており、みんなと一緒に活動するのが楽しいと感じている。
- あいさつができ、思いやりの心が育っている。
- 朝読書を中心に、本を読む児童が増えている。



このように、中田っ子は学校でやりがいを感じ、自信をもって活動しています。また、全国学力学習状況調査の結果から、基本的な生活習慣が身についている子供が多いことが分かっており、大変喜ばしいことです。

<本年度の重点目標について>

重点目標のうち、あいさつ、思いやり、読書について極めて高い評価となりました。

あいさつについては、昨年度に引き続き、朝のあいさつ運動を継続し、児童会がその方法を工夫することで、あいさつの雰囲気が高まっています。

思いやりについては、学校で「あったか言葉」という言い方をして、相手が聞いてうれしい言葉を使おう、相手が嫌がる言葉は使わないようにしようという指導をしたことにより、「うざい」などの否定的な言葉は聞かれなくなりました。

読書については、全国学力学習状況調査の結果、長文読解力がやや不足していることが分かったため、「本を読もう。」という目標を設定しました。上の学年では、できるだけ絵の少ない、文章量のある本を読むよう促したところ、特に高学年で読書をする子供が増えてきました。

一方、主に次の2点が今後の課題として浮かび上がりました。

- ゲームやテレビの時間を守っている者が多い反面、あまり守っていないという児童が増えてきた。（低学年：9.4%、中学年：15.0%、高学年：12.0%）
- グラウンド改修工事の影響もあり、高学年で「めあてをもった運動」があまりできなかったという児童が多くなった。（低学年：4.2%、中学年：6.5%、高学年：16.0%）

特にゲームやテレビの時間について問題を感じている保護者が29%もおられ、「自分の力でゲーム等の時間を守ることができる子供」になるよう対策を検討します。

今年度も保護者、地域の皆様には、学校の活動に対してご理解とご協力をいただきまして有り難うございました。元気でやる気に満ちた素晴らしい中田っ子。将来に向かって一層伸びてくれることを期待します。次年度もよろしく願いいたします。

トピックス

夢の海原にこぎだそう

6年担任 水上 貴哉

「ギョギョー」のフレーズでおなじみのさかなクンはご存じですね。東京海洋大名誉博士に「クン」付けは失礼なのですが圧倒的なお魚愛と豊富な知識、そしてテンションの高いキャラで子供から大人まで人気ですね。釣りが趣味の私も彼が大好きです。以前、そんな彼の子供時代をテレビで拝見しました。

小さい頃から絵を描くことが好きだったさかなクン。トラックから妖怪まで、興味をもったものはすべてイラストにし、しかも細部まで描きこむ子だったそうです。ある日、小学校の友達が描いた「タコ」のイラストに「なんてカッコよくて、不思議な生き物なんだ」と衝撃を受けます。以来、頭の中は学校でも家でも「タコ」のことばかり。母親にも質問の嵐でした。ここからがお母さんのすごいところ。お母さんは息子の興味が続くうちにと、とりあえず魚屋さんで毎日タコを買ってきて一緒に観察、そして夕ご飯もタコ料理のオンパレードだったそうです。その間なんと1ヶ月！。さらにお母さんは、生きているタコを見せようと水族館に行きます。すると彼は一瞬でタコでなく「ハコフグ」の水槽に釘付けになってしまいます。新たな「研究素材」が誕生した日でした。そう、さかなクンがかぶっているあのユニークな帽子の魚です。

「英才教育？」の甲斐あって中学3年の時には、民間人で初めて学校で飼育していたカブトガニの人工ふ化に成功します。そのときも母親と一緒に大きな水槽を探しに行ったり、海水を汲みに行ったりする日々だったそうです。あの帽子には「可能性」を信じ大切に育てた親子の深いきずなが込められているように思います。

さて、そのさかなクン。小学校の卒業文集に「水産大学の先生になって、研究したことをみんなに伝えたい」と夢を語っています。水産大学は現在の東京海洋大学。見事に夢は実現したのですね。

期待や不安を胸にこれから夢の海原へとこぎ出す6年生のみなさん。小学校の文集に書いた夢は結構実現します。進路を「夢」に向かって舵をとり、たくましく成長してほしいと願っています。



ぶら学校ニュース

卒業を祝う集い

卒業まであとわずかとなりました。3月4日には「卒業を祝う集い」が体育館で行われました。集会は2年生からの「招待状とお手引き」に始まり、3年生からは心を込めた手作りプレゼント、1, 4, 5年生からは歌やクイズ、劇などの出し物が披露されました。教職員への「感謝の集い」同窓会への入会など一つ一つの思い出を経て卒業の日を迎えます。今年度の卒業生は52名、17日に巣立ちます。



ドクターヘリ ランデブーポイントの指定について

ニュース等でご承知と思いますが、県内でもドクターヘリが活躍することになり、本校のグラウンドも緊急時にヘリコプターが着陸する地点（ランデブーポイント）の一つとして登録されました。あくまでも「万一の場合」ですが患者を救急車から最短時間で収容するため、無人のグラウンドにヘリコプターが着陸する場合があります。ご承知おきを願います。

